



1.8/3.5/3.8/7/10MHz

Low-Band DXing

JA4DND 松浦 博美 Hiromi Matsuura



7X7Xの運用チーム
2名のYLを含むDX初心者
の訓練を兼ねて実施された



7X7Xの運用で訓練中の7X2QV Sara
(右、23歳YL)と7X3TL Mohamed(左)

👍 7X7X Algeria

7X2RO Afifと3V8SF Ashはアルジェリアとチュニジア両国の無線協会の関係強化と若者の育成などを目的に、2019年12月29日～2020年1月2日までアルジェリアから上記のコールサインで2名のYLと遅れて参加の1名を含む合計9名でJA/NA向けのローバンドを主体に運用した。

運用場所はアルジェリア北東部の地中海に面したベジャイヤ。TS-480とTS-2000、ACOM1000を持ち込み、1.8MHzは26m高のインバーテッドL、3.5MHzはフルサイズ・パッチカル、10MHz/7MHzはGPを設置。受信アンテナは当初予定していたJA向けのBOGに代わってK9AYを設置。

JAでは31日06JST頃から1822kHz upでRST 449～559の信号が入感したもののEUの壁は厳しくJAへのコールバックはほとんどなかった。1月1日は早い時間からFT8でデコードされていたが、オンフレからSplitになったのが06JST頃で、JAから一斉にコールが開始されたが現地の受信環境が良くないのかなかなか進まず、途中でオンフレに戻ることもたびたびあった。しかし07JST頃再びSplitとなり、西日本ではちょうど日の出となったため多くのJAにコールバックがあった。Ashによれば1.8MHzで30局、3.5MHzで6局、7MHzで34局、10MHzでは1局をログインしたとのこと。1.8MHzのデジタルモードではおそらく初めてとなり元旦早々大きなプレゼントとなった。現地局のアクティビティは限定的で、JAからのWantedランクはいまだに60位前後と非常に高く、今後のQRVが期待される。

👍 A50BOC、A5B Bhutan

JH1AJT 宮澤氏はブータンの2020年東京オリンピック・パラリンピックへの参加支援と準備についての会合のため再びブータンを訪問し、業務の合間に新しく取得した上記コールサインで運用を行った。他にDJ9ZB、KO8SCA、ON5UR、E21EICが加わり、ローバンドでは12月12日03JST頃から7012.5kHz upのCWで入感した。EUの大パイルアップでJAからはまったく歯が立たなかった。04JST頃には信号が確認できないくらい



A50BOC、A5Bを運用中の
KO8SCA Adrian
12月初めに4U1UNを運用後すぐ
にブータンへ合流



1.8MHz用パッチカル・アンテナの給電部(A50BOC、A5B)
10本以上のラジアルが見える



1.8MHz用パッチカル・アンテナ(A50BOC、A5B)

弱くなったが日の出前後からは信号も急に強くなって多くのJAに回答があった。

13日は1950JST頃から7007.5kHz upで強力なCQが入感。21JST頃からはFT8にQSYした。朝の時間帯に比べて信号は各段に強く、JAの大パイルアップもスムーズに捌いていた。これは9月のA5Aでも同じで、JAからは21JST前後がベストタイムだった。

前後して、13日早朝には3567kHzでFT8の運用もありEU/JAの大混戦でJAからは厳しかった。しかし後半は、7MHzは夜のパス、3.5MHzは朝のパスを中心にJA向けの運用が行われ、前回9月の運用を大幅に超える局数がログインされた。JA向け1.8MHzは15日06JST頃から1840kHzのFT8で入感、JAのパイルアップとなったが、この日は現地のデコード環境が悪いのか局数は伸びなかった。16日も06JST頃からJA指定になって一斉に待機していたJAの猛烈なパイルアップとなった。この日は信号も強く、スムーズな展開となって60局以上がログインされた。以降連日CWも含めて05～07JSTと21JST頃の夜間パスでJA向けの運用が行われ、約180 QSOを記録した。8割近くがFT8と思われるがそのほとんどが宮澤氏のオペレーションらしい。

18日限定でA5Bの特別コールの運用も行われた。このコールサインはブータンのダショー・ジゲル・ウゲン・ワンチュク国王殿下に準備されていたもので、18日、やっと14MHzのSSBで運用が開始され、その後クルーと交代しローバンドを中心に運用された。主に3.5MHzのFT8とCWが多かったが1.8MHzのFT8は22JST頃からFBに入感。2240JST頃にやっとCQ JAとなったが数局にとどまった。連日の激務と睡眠不足の中で、今回は1.8MHzで約180のJAとQSOできたのはクルーの設置した受信ビバレッジ・アンテナとJAのベストタイムに長時間我慢比べの運用が続いたことが大きい。またCD78を新しく持ち込んだため3.5MHzの信号も格段に強化された。宮澤氏と全メンバーに感謝。

👍 HV0A Vatican

事前のNewsがなかったが、IK0FVC Francescoが1日だけの限定でパチカンから上記コールサインで1.8MHzの運用を行った。

12月15日の早い時間から1844kHzのFT8(F/Hモー

Feb. 2020

ド)でEUと交信しているのがデコードされたが、なかなかJAを聞いてくれなかった。油断した04JSTすぎに1840kHzで一瞬CQ JAとなったようで2局のみQSO。その後また1844kHz

に戻ってEUとやりだした。06JSTを過ぎてから再度1840kHzでCQ JAとなって一斉にコール開始。ちょうど1840kHzの逆シーケンスでA50BOCがJAのパイルアップを捌いていたので気が付くのが遅れた局が多かったようだ。Francescoによれば今回の運用はJAからの要望によってJA向けをメインに計画された一晩だけの運用だったようだ。結局35局をログインしNewを得た局も多いはずだ。HV0Aはクラブ局ではなくFrancescoの個人局として免許された局だが、過去にはゲストで運用した局も多い(JH4RHFなど)。次回の運用計画は未定だが春頃にQRVするかもとのこと。

👍 P4/DL6RAI Aruba

毎年クリスマス休暇をアルーバで過ごしてきたDL6RAI Benは今年も12月初めから3週間、共同オーナーであるP49Vのシャックに滞在していたがなかなかQRVしてこなかった。やっと22日から3.5MHzのFT8で入感し、ときどき見失うこともあったが19JST頃から20JST頃には西日本でも強力に入感した。JAの大パイルアップだったが比較的スムーズに進行した。この日は現地の日の出(12Z)までの約3時間で50局をログイン。23日は、あまり信号は強くなくQSOは少数だったが、24日は16JSTすぎ(現地時間朝4時)から入感。この日は信号も安定しさらにパイルアップも激しくなり一時は30局以上のJAが画面上にデコードされるくらいだった。Benによればこの日は64局をログインしたがかなりの



少し古いHV0Aのシャックの様子
OH2BH(右)とIK0FVC Francesco(左)



P49Vのアンテナ全景

局が残った。今回は25日を最後に合計157 QSO (JA) を記録したとのこと、送信アンテナは21m高の逆V型で変わっていないが、受信時はクリスマス・イルミネーションからのノイズと思われる影響で相当苦労したようだ。昨年は現地のノイズに苦しみながら1.8MHzで22局のJAをログインしたので今年も期待したが、ちょうどクリスマスと重なったこともあって今年のJA向けは3.5MHzのFT8に絞って運用された。

👍 TO9W Saint Martin

ここ数年毎年セント・マーチンから運用しているK9EL Johnをリーダーとするチームは、新しい首記のコールで12月5日から運用を開始した。今回のチームはK9NU, W9ILY, N9AOL, K9ELにFS4WBSが加わり5名の体制。特にローバンドに注力し、JAを重点とするというアナウンスがあって大いに期待された。島の北東側にあるオリエントビーチに近い小高い丘の中腹はロケーションが非常に良く、3台のElecraft K3、アンプはExpert 1.3Kを2台、KPA500 1台と1.8MHz用GP、3.5MHz用フルサイズのダイポール・アンテナ、7MHz用バーチカルなどと受信用にSAL20 (ローバンド用ループ・アレイ) が準備された。1.8MHzと3.5MHz用のアンテナ機材が遅れて到着したこともあって5日の7MHzから運用が始まった。JAでは5日0640JST頃から10130kHzのFT8 (F/Hモード) で入感。この時間のパスはLPかと思ったが筆者宅ではSPの方が断然強かった。6日と7日の朝も同じパターンでJAからも多くのコールがあったが、日の出を過ぎると厳しい場面も多く不完全なデコードも多かった。11日0630JST頃には10121kHzのCWでEU/JAの大パイルアップとなっていた。SP方向はEUが優位なのは仕方ないがJAへのコールバックは少なかった。12日朝07JSTすぎにCWから消えたと思ったら10143kHzのRTTYに出てきた。最近あまりRTTYのQSOの機会がないので慌てた局も



センターローディング
1.8MHz用バーチカル・
アンテナ (TO9W)



TO9Wの受信用SAL20アンテナ
8方向の指向性切り替えが可能



TO9Wを運用中のW9ILY (左)
とK9EL (右)

多かったようだが信号はS7~9と強かった。

7MHzでは8日20JSTくらいに7056kHzのFT8 (F/Hモード) で確認されたが信号は西日本でも問題なくデコードできるレベルでストレスは少なかった。CWは13日の日の出前後から7017kHzでLP方向から入感したが、NA・EU・JAの大パイルアップでJAからは少なかった。3.5MHzの信号はなかなか聞こえてこなくてイライラした。9日20JSTすぎに3518kHzでCQ JAだったが西日本からは厳しかった。11日2020JST頃3573kHzのFT8はQRM、ジャミングでJAからはほとんどQSOできなかったようだが、13日17JST頃からの3567kHzのFT8 (F/Hモード) はFBなコンディションに恵まれ、多くのJAがQSOできた。

期待された1.8MHzはDXクラスターにたびたびスポットされるものの信号は確認できなかった。3.5MHzで167QSOがログイン (Club Logより) されたのは大きな成果だった。またほぼリアルタイムのオンラインログ (Club Log) は良好に動作したようで大きな安心となった。

👍 XT2AW Burkina Faso

昨年の4月に続き2回目の運用となったDF2WO Haraldは昨年12月からローバンドにもQRVを始めた。前回までの1.8MHz用トップローディングタイプのバーチカル・アンテナが壊れたため、今回はインバーテッドLタイプの新しいアンテナを設置し、3.5MHzは専用の短縮ダイポールを設置した。12月5日0630JST頃より3573kHzのFT8で入感。07JST前からはJA指定でこの日は28局がログインされた。QSBがあるものの西日本では0730JSTのフェードアウトまで比較的良好に見えていた。その後1.8MHzや5MHzに重点が移ったため3.5MHzのQRVは11日朝までなかった。

11日は数局のJAとQSO後、0620JST頃に1840kHzにQSYしてCQ JA。しかしこの日はわずか2局のログイン。以降JAのベストタイムにQRVはあるものの、ほとんどデコードできない日が続いた。19日0615JST頃

●5Z4/G3AB: ローバンドでアクティブなAndyは、4年間の滞在予定で現地コールを申請中。近くコールが変更されるかもしれない



新しくなったXT2
AWの1.8MHz用イン
バーテッドLアン
テナ (18m高)



XT2AWのシャック
ICOM IC-7300のペアフト運用

に3.5MHzから消えて1840kHzにQSY。西日本では厳しかったが東の局が一斉にラブコール開始。07JST頃にやっと西でもデコードできるようになり、この日だけで32局 (除くDUPE) がログインされた。

22日にQRTしたが、今回の運用では1.8MHzで合計34局、3.5MHzで70局がログインされた。ICOM IC-7300のペアフト運用を考慮すれば特筆すべき成果となった。連日熱心にJAを開いてくれた努力に感謝。

👍 VP8PJ South Orkney <最新情報>

2020年の幕開けを飾るサウス・オークニー諸島へのDXペディションがいよいよ迫ってきた。まず新年早々にコールサインが“VP8PJ”に変更された。全ての準備は予定どおり進行している。K5SG GeneからJA向けに最新情報とメッセージが届いた。



今回もブレイブハート号が使用される (VP8PJ)

(1) 日程

- コンテナは1月の早い時期にチリのプンタ・アレナスに集結し、メンバーは2月13日に空路で同地に集合する
- 機材のブレイブハート号への積み込みは2月14日と15日の予定で、15日に出航し、21日に現地に着予定。到着次第設営開始
- 撤収と現地出航は3月6日。プンタ・アレナス着は3月12日の予定



準備された発電機とバンドパス・フィルタ (VP8PJ)

(2) Log SearchとQSL

- 出航前の10USD以上の早期ドナーに対しては運用中にLoTWにアップロード
- 50USD以上のドナーはLoTWとQSLの無料発行
- 200USD以上のドナーはLoTWとQSLの無料発行および特別な記念品が贈られる
- Log SearchとOQRSはQSLマネージャーM0URXのWebサイト (<https://www.m0urx.com/oqrs/logsearch.php>) で対応
- OQRSはQRT後10日をめどに対応予定

(3) JA向け周波数 (追加) とFT8について

- 160m CW QSX down 2
- 160m FT8 QSX 1908kHz
- 80m SSB QSX 3795~3805kHz

- オペレーターがF/Hモードを使用しない160m以外はF/Hモードで行う
- WSJT-Xの最新バージョンを使用予定

(4) その他

- われわれは“DX Code of Conduct”^{*1}に従います
- われわれは“Gray Line”に密接に対応します
- 最新情報はJA Pilot JA1WSX (ja1wsx@jarl.com) に送ってください
- オペレーターの指示に従ってください
- 特にオペレーターがQRXを要求する場合は呼び出しを停止しスタンバイが必要です。オペレーターの指示をよく聞いてください

(5) 筆者追記

- さらなるJAからのドネーションを期待されています。Web Pageの“DONATE”から下段のメニューで金額を選択し、コールを打ち込み、その下の“Donate”をクリックするとPayPal (<https://sorkney.com/>) に飛びます。
- ローバンドの伝搬は4年前のVP8SGIやVP8STIが参考になります。夕方4時前後からの北回りのパスと日の出前後のグレーラインに集中しましょう
- 確実なコールバックがあった場合は自分のコールを再度打つのはやめましょう

◎◎